

セキュリティUSBフラッシュメモリ

PicoDrive Secure

GH-UFD+SRS シリーズ

取扱説明書 Ver.1.0

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくご利用いただく為、本取扱説明書をよくお読みください。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

- 警告** 下記事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります

 - 発煙、発熱、異臭、異音が発生したら、すぐにパソコンなどの電源を切り、パソコンなどから取り外してください。
 - ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。
 - 落雷のおそれがある場合、触れないでください。
 - 異物や液体を付着させないでください。
 - 高温多湿や直射日光を避けてください。
 - 分解や改造をしないでください。
 - 子供や乳幼児の手の届くところで使用しないでください。
 - パソコンなどへは、しっかり差し込んでください。

- 注意** 下記事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります

 - 水分や静電気を帯びた手で触れないでください。
 - 使用しないときは、パソコンなどから抜いて保管してください。
 - 保管するときは、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
 - データ転送中は、パソコンなどから取り外さないでください。

データについて

- 誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
- 磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
- 温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
- 大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
- データが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

制限事項

- 対応OS以外での動作は保証いたしかねます。
- 他のUSB機器との同時使用についての動作は保証いたしかねます。
- 省電力モード時の動作は保証いたしかねます。
- 接続機器の制限により転送速度がUSB1.1規格値になる場合があります。
- 本製品を接続時の機器の起動や終了についての動作は保証いたしかねます。
- OSエミュレータ環境やマルチブート環境では正常に動作しない場合があります。

同梱物

- PicoDrive Secure 本体
- 取扱説明書 / 1年間保証書（本書）

本製品について

各部名称



スライドスイッチ

- 注意**

データ転送中は絶対に本製品をUSBポートから抜かないでください。保存データが破損するおそれがあります。

特長と機能

- ハードウェアレベルでのデータ暗号化を実現。専用ソフトのインストール不要
コントローラにデータ暗号化エンジンを搭載しているので、専用ソフトのインストールなしで、すべて信頼性の高いAES256bit で暗号化されます。AES256bit で暗号化された保存データはハードウェアレベルで暗号化されますので、たとえ本製品を分解して別基板に組み込んだとしても、データを参照することはできません。

- 紛失による情報漏洩からデータを護る、パスワードロック機能付き
紛失しても安心のパスワードロック機能が付いているので、万一、製品を紛失してしまっても中身を第三者に見られることはありません。AES256bit での暗号化と組み合わせ、強固なセキュリティを実現します。

- Autorun.inf ファイルチェック機能搭載
USB フラッシュメモリを介して感染する「Autorun ウイルス」をチェックする機能が搭載されています。「Autorun.inf」ファイルの内容をチェックし、不正な書き換えの可能性がある場合は、警告を表示して、「Autorun.inf」ファイルの削除や名前の変更ができます。

- リードオンリー（読み取り専用）機能搭載
USB フラッシュメモリ内のデータを参照するだけなら、リードオンリー（読み取り専用）で開くことでウイルスの侵入を防ぐことができます。

- デバイス初期化機能搭載
設定したパスワードを忘れてしまった場合に、USBフラッシュメモリを初期状態に戻すことができ、再度ご利用することができます。※内部のデータは削除されます。

- ファイル・フォルダ暗号化
ファイル・フォルダの暗号化・復号化、および自己復号化形式の暗号化ファイルを作成することができます。簡単な操作により暗号化・復号化を行うことができ、機密情報流出防止に役立てることができます。

- ファイル完全削除
信頼性の高いファイル削除機能を簡単な操作により行うことができます。WindowsOS では、保存されているファイルを「データ管理情報」と「データ本体」に分けて保存しているため削除やフォーマットではデータを完全に消去することはできません。重要な社内機密や個人情報ファイルを完全に消去して、データ復元ソフトや残留磁気の解析でのデータ復元を不可能にします。


- パソコンロック
パソコンのロックキーとして使用することができます。本製品が接続されていない場合、自動的にログアウトし、パソコンをロックします。


- ユーザー権限動作対応
ソフトウェアのインストールなしで、管理者権限だけでなくユーザー権限でも使用できます。

- 鉛等の含有量を抑えた環境にやさしい、RoHS 指令対応

「マイコンピュータ」上での認識

本製品は、下図のように、PicoDrive Secure のプログラムの入ったプログラム領域とデータの読み書きができるデータ保存領域の、2 つの領域がマイコンピュータに認識されます。

- PicoDrive Secure のプログラムの入ったプログラム領域

※データの読み書きはできません。

- データの読み書きができるデータ保存領域

※ログイン後、データの読み書きができます。
※ドライブ名は、「PUBLIC」、または「リムーバブルディスク」と表示されます。
※Windows 7では、ログイン前は「PicoDriveSecure」ドライブのみ表示されます。
※ご使用環境によっては、PicoDrive Secureのアイコン表示が異なる場合があります。

対応 OS

Windows 7 / Vista / XP (SP2 以降 /32bit)

初めてお使いになる場合

パスワードとヒントの設定

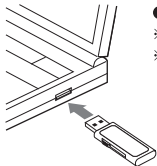
本製品をご使用いただく為には、本製品をパソコンの USB ポートに接続し、最初に表示されるパスワードの登録画面でパスワードの設定をします。
※パスワードの登録画面が表示されない場合は、トラブルシューティングをお読みください。



- ①新しいパスワードの入力
ログイン時のパスワードを入力します。
※半角英数字記号で4~16文字の範囲で入力してください。
※大文字と小文字は区別されます。
- ②パスワードの確認入力（確認）
新しいパスワードと同じ文字を入力します。
- ③ヒントの入力
ログイン時に表示されるヒントを入力します。
※入力しなくてもご利用いただけます。
※パスワードと同じヒントは登録できません。

PicoDrive Secure の基本的な使い方

1. パソコンに接続する



- 本製品をパソコンのUSBポートに接続します。
※データ転送中は、本製品を抜かないでください。
※USBメモリを接続したときに、再起動要求がでる場合がありますが、再起動の必要はありません。

2. 「ログインメニュー」の起動



- 本製品をパソコンに接続するとログインメニュー画面が表示されます。
※ログインメニュー画面が表示されないときは、マイコンピュータ上の「PicoDriveSecure」ドライブをダブルクリックするか、「タスクトレイメニュー」から「ログインメニュー」を選択してください。
※「ログインメニュー」の選択方法は「タスクトレイメニュー」をお読みください。それでもログインメニュー画面が表示されない場合は、トラブルシューティングをお読みください。

3. ログイン



- ログインメニュー画面で「ログイン」ボタンをクリックするとログイン画面が表示されます。
ここで、最初に設定したログインパスワードを入力し「OK」ボタンをクリックします。
※「ヒントを表示」にマウスのポインタをあわせると、ヒントが表示されます。
※連続で10回間違ったパスワードを入力するとログインできなくなります。この場合は初期化をしてください。

4. Autorun.inf チェックを使用しないでログイン



- Autorun.inf チェック機能を使用せずに本製品をご使用の場合は、ログインメニュー画面で「Autorun.inf チェックを使用しない」にチェックを入れてログインします。

5. 読み取り専用で開く



- 読み取り専用で本製品をご使用の場合には、ログインメニュー画面で「読み取り専用モードで開く」にチェックを入れてログインします。
※読み取り専用モードは、「Autorun.inf チェックを使用しない」のチェックが入っていないと選択できません。

6. パスワードの変更



- パスワードを変更するときは、ログインメニュー画面から「パスワードの変更」ボタンをクリックし、パスワードの変更画面を表示します。
ここで、現在のパスワード、新しいパスワード（パスワードの確認入力を含む）、ヒントを入力し「OK」ボタンをクリックします。

7. オプション — 初期化



- パスワードを忘れてしまったときや、USB メモリを初期化したいときは、ログインメニュー画面から「オプション」を選択して、「初期化実行」ボタンをクリックします。初期化を実行しない場合は、「戻る」ボタンをクリックし、ログインメニュー画面に戻ります。
※初期化を実行すると本製品内の保存データとログインパスワードが消去されます。よくご確認ください。

8. ログアウト



- ログアウトするときは、ログイン中にログインメニュー画面を表示します。
次に「ログアウト」ボタンをクリックします。
※ログインメニューは、「タスクトレイメニュー」から選択します。タスクトレイメニューの表示方法は、「タスクトレイメニュー」をお読みください。
※管理者権限以外ではログアウトできません。この場合は、次項「9. 取り出し」を実行して、一旦、USBメモリを取り外してください。

9. 取り出し



- 本製品の取り外しには、タスクトレイメニューから取り外しをクリックします。
- 「コンピュータから安全に取り外しができます」という表示を確認してから本製品を取り外してください
※タスクトレイメニューの表示方法は、「タスクトレイメニューの表示方法」をお読みください。

タスクトレイメニュー

1. タスクトレイメニューの表示方法



- タスクトレイメニューを表示するには、タスクトレイにある、PicoDrive Secure のアイコンを右クリックします。

PicoDriveSecureのアイコン

2. ログインメニュー画面の表示



- 「ログインメニュー」を選択すると、ログインメニュー画面が表示されます。ログインメニューについては「PicoDrive Secure の基本的な使い方」をお読みください。

ファイル・フォルダ暗号化・復号化の操作方法

1. ファイル・フォルダ暗号化復号化ソフトウェアの起動方法



- 「タスクトレイメニュー」から「ファイル・フォルダ暗号」を選択します。
起動すると、「ファイル・フォルダ暗号」ソフトウェアのアイコンがデスクトップ上に表示されます。
※タスクトレイメニューを表示方法は、「タスクトレイメニューの表示方法」をお読みください

2. ファイル・フォルダ暗号メニュー

- 「ファイル・フォルダ暗号」のアイコンを右クリックすると、ファイル・フォルダ暗号メニューが表示されます。

- | | | |
|------------|---|-------------------------------------|
| 設定 | ① | ①各種設定画面を開きます。 |
| 暗号化フォルダを開く | ② | ②「設定」画面で暗号化フォルダを設定した場合、そのフォルダを開きます。 |
| 復号化フォルダを開く | ③ | ③「設定」画面で復号化フォルダを設定した場合、そのフォルダを開きます。 |
| USBドライブを開く | ④ | ④PicoDrive Secureのデータ保存領域を開きます。 |
| バージョン情報 | ⑤ | |
| 終了 | ⑥ | |

- ⑤「ファイル・フォルダ暗号」ソフトウェアのバージョン情報を表示します。
- ⑥ファイル・フォルダ暗号メニューを終了します。

